

ニューズレター

第43号

ごあいさつ

日本音楽療法学会北海道支部長 近藤里美

北海道支部の皆様におかれましては、日頃から支部活動・運営にご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。いよいよ自粛生活ばかりの長い厳冬の終わりが見え始め、新型コロナウイルス感染症と共存しながら前に進もうという春の気配が感じられるようになりました。2023年の干支は「癸卯（みづのとう）」です。「癸」は大地を潤す恵みの水を表し、あらゆる生命の死と再生を促す意味を持ち、「卯」は静かで穏やかな飛躍の象徴と言われます。そこで評議員会では、オンラインによる支部運営で培った様々なノウハウを生かしながら、いよいよ対面の支部大会開催に向けて進むことを決断しました。



第42回北海道支部大会は、多くの方が安心して参加いただけるよう、十分なスペースを確保するため大谷大学の響流ホールにて開催します。また、演題発表のほか、交流会を通じて会員相互の親睦が図れるように準備を進めて参ります。そして、現代のドラムサークルの基礎を築いたアーサー・ハルに師事された横田知子先生を迎え、リラックスした雰囲気の中で心身ともに音楽を味わっていただくためのドラムサークルの講義とワークショップを予定しています。音楽の根源である振動とリズムについての理解、ご自身の実体験とファシリテートを学ぶ中に、きっと皆様の今後の音楽療法実践へのヒントが見つかることでしょう。ぜひ動きやすい服装でお越しください。多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

さて、支部大会はオンラインから対面開催へ移行しますが、これは単に以前の支部大会の形式に戻すことを意味するものではありません。私たちがこれまでオンライン支部大会運営から学んだことを活かしながら、会員の皆様の利益や効率性などを総合的に考慮しつつ、今の時代に即した新たな対面の開催方法を模索していくものです。つきましては、支部大会に関する以下の3点をご確認ください。

1) 支部大会参加申込、大会参加費納入について

支部大会申込は、引き続き北海道支部ホームページにて行います。参加申込後に、自動メールにて参加費納入の詳細が返信されますので、北海道支部口座へご入金ください。

2) 資料（プログラム、演題抄録、講演資料など）配布について

引き続き事前にオンライン上にて配布します。各自でダウンロード、（必要であれば）プリントアウトしてご用意ください。

※資料を事前に配布することにより、参加者が事前に資料を読むことができ、支部大会当日の演題発表や講演内容について理解を深めることができます。

※止むを得ず当日参加できない場合でも、資料をダウンロードできます。

3) 参加証授与の条件、および配布方法について

参加証授与の条件は、引き続き支部大会後に北海道支部ホームページに開示される確認テスト、アンケートへ回答された方に参加証が授与されます。なお参加証は、条件を満たした参加者のメールアドレスへPDFファイル添付にて送信されます。各自でプリントアウトしてご使用ください。

以上、北海道支部では、環境への配慮およびコスト削減のため、ペーパーレス化を推進して参ります。どうか皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。なお、支部大会に関する情報は、随時北海道支部ホームページにてアップデートされますので、定期的にご確認くださいようお願い申し上げます。

第41回 日本音楽療法学会北海道支部大会報告 研修委員会

「井戸端会議第2弾」～コロナ禍で変わったこと・変わらなかったこと～…………… 評議員会企画

講演・ワークショップ

「音楽療法士の音楽を考える」…………… 講師：岡崎 香奈先生（神戸大学准教授）

一般演題

「歌舞伎症候群・重度の障害を持つ児童への個人セッションの事例」
～着席行動の増加及び立ち上がる力の向上をめざして～…………… 菅原 洋子氏

第41回支部大会はオンラインにて開催された。一般演題は北海道医療大学サテライトキャンパスから、講演・ワークショップは神戸からライブ配信された。

菅原氏は、歌舞伎症候群の4歳女兒の個別音楽療法について報告した。女兒が音楽に合わせて歩く、バランスボールに座って弾むなどの粗大運動を行うことにより、低緊張が改善され、座位の保持が容易になり、立ち上がりが可能となった。また筋力強化に加え、女兒の好きな楽器・歌の絵本を使用することが、着席時間の増加に結びつき、さらには、父母やセラピストととのやりとりなども強化子となり、自傷行為が減少することとなったと考察された。



菅原 洋子氏

前回好評だった「井戸端会議」は今回第2弾ということで、臨床領域別に5グループに分かれ、コロナ禍で変わったこと・変わらなかったことについて、実り多いディスカッションが行われた。（詳細については別紙参照）

岡崎先生の講演とワークショップでは、

1. 音楽療法士の音楽的背景を振り返る
 2. 音楽療法士の臨床音楽能力を考える
 3. 音楽ワーク
- という構成で、音楽療法について学んだ。

1. 音楽療法士の音楽的背景を振り返るでは、「音楽的自叙伝」の作成は自分の人生の大切な音楽を振り返ることによって自己省察が深まり、それが療法士として使う自分の音楽の理解を深めることや、他者と分かち合うことで自己肯定感にも結びつくことをご自身の自分史を交えながら説明された。また、「音楽的自叙伝」の一部を切り取る「音楽アルバム」の作成は、音楽療法場面でも活用できるものであることも話された。

ここで、ブレイクアウトルームで小グループに分かれ、お互いの「音楽アルバム」の中の一曲とその理由について分かち合った後、全体でその内容をシェアした。各グループから、「自分の発表をグループメンバーに肯定的に受け止めてもら

い嬉しかった」、「曲にまつわるネガティブな記憶が、ポジティブなものに上書きされる経験をした」などの感想が聞かれた。



岡崎 香奈先生

2. 音楽療法士の臨床音楽能力を考えるでは、セラピストが大切のするものについて説明された。

「聴くこと」「音色・音質に気を配ること」これらは同時に行われ、クライアントの反応を見逃さず言語的・非言語的なメッセージを注意深く読み取ることが重要であると話された。次に「セラピストが発する音「源」を知ること」では、奏でられる音色や音質などはセッションの流れや環境などによって影響を受け、変化していくものであり、それらを記録し客観的に振り返ることが大切な作業になると述べられた。そして「何を奏でるのか」と「いかに奏でるのか」のwhatとhowのバランスを取りながら奏でることの必要性が挙げられた。そして、自分のセッションを振り返り言語化すること、演奏を楽しめるまで練習を重ねること、さらに音楽の引き出しを増やすことが重要であると述べられた。「音楽療法士は音楽家で有り療法士であるという初心を忘れない」という言葉も印象に残った。

さらにこれらの点を踏まえながら、再びブレイクアウトルームで小グループに分かれて、「相手の音を聴き、そのメッセージを感じながら自分の音を奏でて、相手へ送る」という音のリレー体験をした。「オンラインでも人とのつながりを感じる経験が出来て楽しかった」という感想が述べられる一方、「zoom設定などで上手くいかなかった」というグループもあり、オンラインでの演習については、事前の十分な準備周知に関する課題が浮かび上がった。

最後に、自分の奏でたい音楽と実際に奏でられている音楽の差がなくなるように努めること、またクライアントを突き動かす音・音楽を奏でることも、セラピストに必要な能力であると話された。

音に込められたメッセージを読み取ること、また自分が考える音を客観的に理解することの大切さについて学び、自らが体験して振り返る貴重な時間となった。（文責：土屋）

リレーコラム

「音楽で笑顔が溢れる場所を作り続けたい」

永宮 千里

障がいを持つお子さんとその保護者の方々に音楽で笑顔にしたいと、私の活動は2014年から始まり現在もボランティアの音楽療法グループとして続いています。この活動を始めたきっかけは、障がいのあるお子さんにもっと音楽を届けたい、親子で楽しむ場所を提供してあげたいという思いからです。保育園や幼稚園に我が子を預けたいけれど障がいを理由に断られるケースもあり、当たり前の社会のルールから外されていく様な感覚だと話して下さったお母さんの言葉が忘れられません。そんな親子をサポートし、安心して通える場所が一つでも多くあるようにと活動を続けています。

私が音楽療法士の資格を取得したのは2019年ですが、始めも今も変わらず思うことはまずは目の前の親子を音楽遊びで笑顔にし、楽しかったと帰ってもらうことです。音楽療法という治療的目標を考えてしまいがちですが、子供と

の関わりで一番重要なのは楽しいということです。楽しいからもっとやりたい、また来たいとやる気が湧いてきます。そんな経験こそ成長に繋がる大きな一歩だと考えています。

生まれつき低緊張でなかなか立つことができなかったダウン症のお子さんが、目の前に出てきた太鼓を叩きたいという一心でよいしょと立ち上がった時、その場にいる全員が笑顔になり、拍手をして喜びました。思わず〇〇できちゃった、あそこに行くと元気になる、そんなセッションが私の目指すところです。しかし、発達特性からすぐに楽しい感覚を得られないお子さんもいらっしゃると思いますので、発達のアセスメントは楽しいを支える重要なもう一つの視点とも考え、日々学びを継続しながら臨床を行っているところです。

北海道支部評議員会より

①2022年度第6回評議員会

2022年8月8日(金)Zoom会議

- 報告事項・理事会報告
- 審議事項・第42号ニュースレターについて
- ・第41回支部大会について

②第7回評議員会

2022年9月27日(火)Zoom会議

- 報告事項・理事会・支部連絡会報告
- 審議事項・第41回支部大会について

③第8回評議員会

2022年10月31日(金)Zoom会議

- 報告事項・理事会報告
- 審議事項・第41回支部大会について

④第9回評議員会

2022年12月26日(月)Zoom 会議

- 報告事項・理事会報告
- 審議事項・第42回支部大会について
- ・第43号ニュースレターについて

⑤第10回評議員会

2023年1月23日(月)Zoom 会議

- 報告事項・理事会報告
- 審議事項・第42回支部大会について
- ・第43号ニュースレターについて

支部会員の動向

2023年1月末現在 会員数 176名

第42回 日本音楽療法学会北海道支部大会案内

■日時：2023年6月4日(日曜日)

■場所：札幌大谷大学 響流ホール(中央棟4階)(札幌市東区北16条東9丁目1番1号)

■プログラム(予定)

- 9:30～ 受付開始
- 10:00～11:00 演題発表
- 11:00～11:30 交流会
- 11:30～12:30 総会
- 12:30～13:30 お昼休み
- 13:30～16:30 講演とワークショップ

「リズムを通して人間の可能性を引き出すドラムサークル・ファシリテーターの在り方」

講師：横田 友子先生(一般社団法人VMCグローバルジャパン代表理事、DCトレーナー&ファシリテーター)

当日の都合により、プログラムの変更がある場合がありますのでご了承ください。

■参加費：会員：2,500円 学生会員：1,000円 非会員：4,000円 学生参加：2,000円

■申込期間：2023年3月24日(金)9:00～5月21日(日)17:00締切

参加費振込の締切も5月21日ですのでご注意ください

■申込方法：北海道支部ホームページ上の「第42回支部大会・講習会参加申し込みフォーム」に必要事項を入力してお申し込みください。

■演題抄録締切：2023年4月21日(金)必着

- ・演題募集の体裁について：原則として事例研究の場合は「対象者及び目標」「方法」「経過及び結果」「考察」の形式です。研究発表の場合は、「研究の目的」「方法」「結果」「考察」「結語」の形式です。
- ・図表も含めてA4サイズ1枚に収まるように記載してください。なお本文の文字は10.5ポイントで48文字×40行でまとめてください。但し内容は未発表のものとしします。
- ・発表に関する同意書、誓約書を作成してください。書式については支部ホームページからダウンロードして作成してください。
- ・抄録はワードで作成し、誓約書はPDFにして事務局のメールアドレスに添付して送信してください。
- ・同意書は各自で保管し、誓約書は発表する当日に原本をご持参ください。
- ※パソコンについて：ご自分のパソコン、或いは事務局のパソコンが使用可能です。事務局のパソコンはWindows10: Microsoft Point2010:-2016に対応、データ及び動画はCD又はUSBに入れてご準備ください。それ以外のOS(Windows10、Vista、Mac)を使用の場合はご自分のパソコンをご持参ください。

～対面開催に際しましての注意事項～

- ・発熱のある方、風邪症状のある方は欠席してください。当日欠席となる場合は、必ず事務局へご連絡ください。
- ・日本音楽療法学会の遅刻と早退に関する規定が変更になりました。遅刻早退する場合でも講習会の受講は出来ませんが、その理由によらず、ポイント対象となりません。時間に余裕をもってお越しください。
- ・今回から、プログラムや資料などの当日の配布はございません。前日までにダウンロードして頂き、端末(PC、タブレット、スマホなど)でご覧になるか、あらかじめプリントアウトしてご持参ください。講義、ワークショップを有効的に受講いただくため、今回は各自で事前にプリントアウトして、資料をお持ちいただくことを提案します。当日の会場にWi-fi環境はございませんので、ご了承ください。
- ・大会後の確認テストに回答された方に参加証をメールにて送信いたします。

※詳細につきましては、随時北海道支部ホームページにてアップデートされますので定期的にホームページにてご確認ください。

編集後記

Withコロナの生活の中、まだまだ音楽療法の規制が続いておりますが、今年は3年ぶりに会員の皆さまと対面による支部大会を開催いたします。これからも評議員一同力を注いで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

編集委員(近藤里美・常田いづみ・藤田悦子)

○事務局からのお知らせ

- ・編集委員会が、支部大会で撮影した画像をニュースレターやホームページに掲載する場合があります。不都合のある方は事務局までご連絡ください。
- ・北海道支部大会そのほかの情報については、支部ホームページで随時更新しておりますので、定期的にホームページをご覧ください。
- ・北海道支部からのお知らせ：会員の皆様との連絡方法については、迅速さと経費削減の点からメールの使用を推進しております。事務局へメールアドレスの登録がお済みでない方は、会員番号とお名前を明記してjmta.hokkaido.reiwa@gmail.comまで、メールを送信ください。皆様のご協力をお願い申し上げます。
- ・住所や氏名に変更のある方、各種手続きが必要な方は、学会本部事務局までお問い合わせください。

ホームページもご覧ください

▶一般社団法人 日本音楽療法学会ホームページ <http://www.jmta.jp/> ▶北海道支部ホームページ <http://www.jmta-h.jp/>

一般社団法人 日本音楽療法学会北海道支部事務局

〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条1丁目3-25 カムオンビル

Email:jmta.hokkaido.reiwa@gmail.com

